

JENESYS2022 日 ASEAN 高校生オンライン交流の記録 (平和構築)

1. オンライン交流概要

【目的】ASEAN地域の青年を対象に、日本の平和構築への取組についての理解を促進し、将来の外交関係の礎となる青年間の交流促進と、プログラムでの学びや日本の多様な魅力について参加者がSNS等を通じて多くの人と共有することを主目的として、8日間のオンライン交流プログラム(2022年9月12日～9月22日)を実施しました。

【参加者】ASEAN9か国(注)及び東ティモールの高校生等 計48名

(注)ASEAN9か国:インドネシア、カンボジア、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス

【訪問地】沖縄県、鹿児島県、熊本県、広島県(アイウエオ順)

【日程】

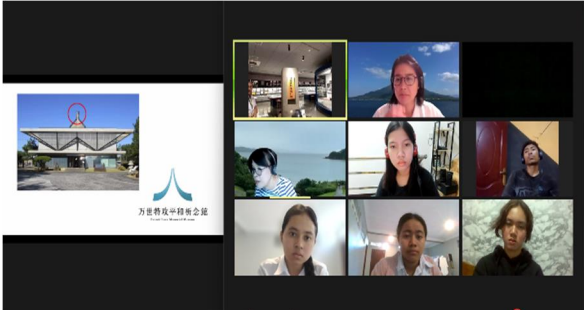
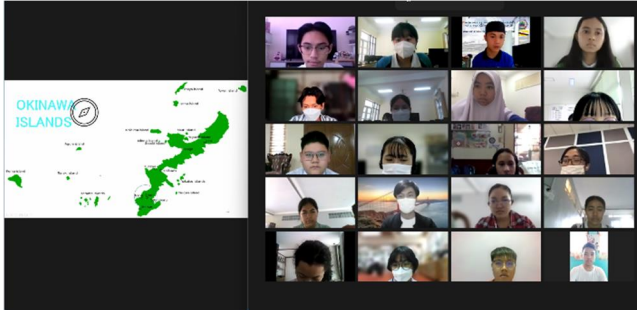
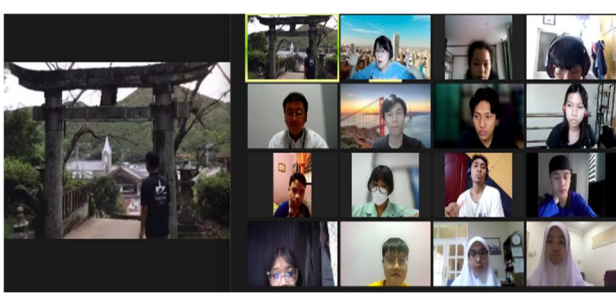
このプログラムは他のプログラムと一部合同で実施しました。

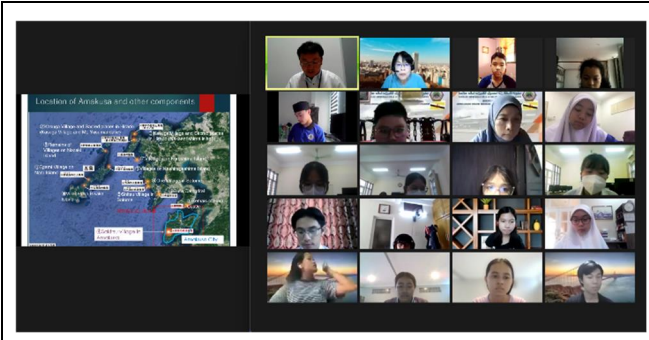
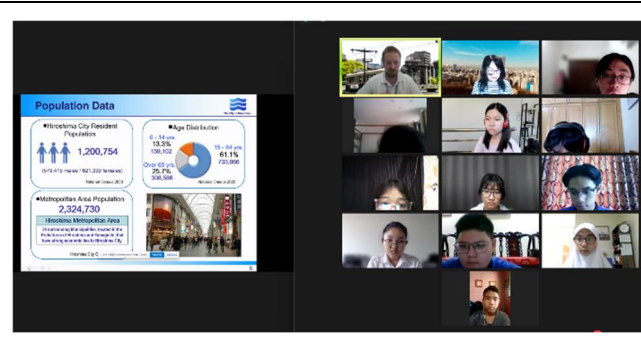
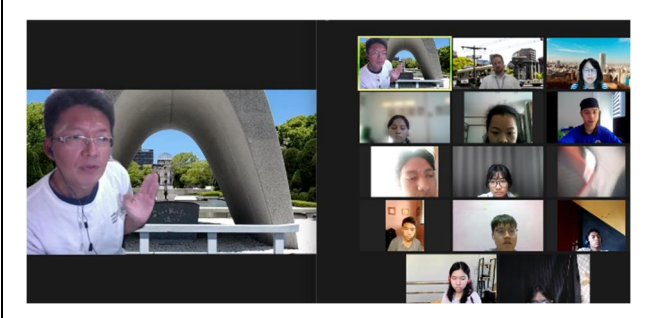
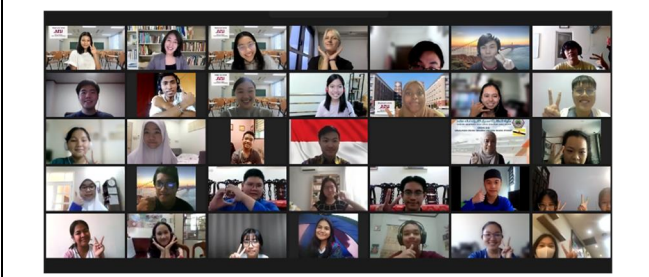
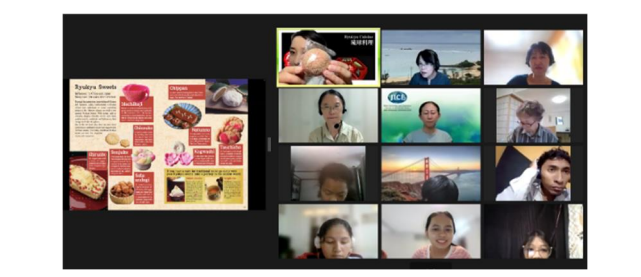
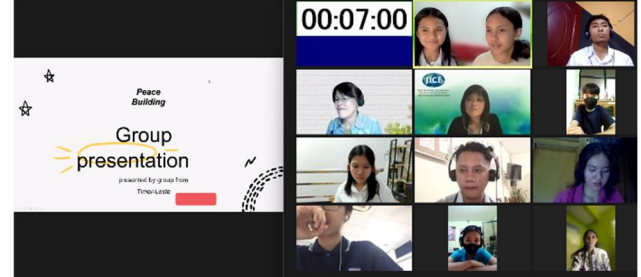
日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応
1日目 2022年 9月12日	1【オリエンテーション】 2【日本理解講義、質疑応答】 「日本の社会と文化」 講師：JICE 日本理解講義講師 アンドラディ 久美 氏 “Lecture on understanding Japan “ Lecturer: Ms. ANDRADE Hisami 3【参加者交流】	講演では、日本のさまざまな事例を自国の事例と比較しながら、参加者は興味深く聞き入っていました。また、日本の教育制度について、「質を重視するのか、学歴を重視するのか」という質問がありました。 初顔合わせの参加者間交流では、各国の参加者が積極的に自己紹介を行い、リーダーと副リーダーを決め、本プログラムに参加するための協力体制を構築していました。
2日目 2022年 9月13日 鹿児島県	1【テーマ関連講義、質疑応答】 講義：「神風特別攻撃隊について」 講師：知覧特攻平和会館語り部 川床 剛士氏 於：知覧特攻平和会館 2【テーマ関連視察・質疑応答】 ①平和祈念展望台(戦艦大和殉難鎮魂之碑) ボランティアガイド：北川 忠武 氏 ②万世特攻平和祈念館 ガイド：万世特攻平和祈念館学芸員	講義・視察では、参加者は真剣に話を聞き、「パイロットになるための必須資格は何か」「カミカゼ作戦に参加した最年少兵士の年齢は」「日本政府による戦亡兵士の家族への補償の有無、保証した場合の金額は」等、沢山の質問がありました。

	小屋敷 茂氏	
3 日目 2022 年 9 月 14 日 沖縄県	【学校交流】沖縄県立那覇高等学校 ① 学校紹介・概要説明 ② 少人数別グループ交流 ③ 交流会総括	参加者は、各々の生活とは異なる日本の学校生活や沖縄について大変興味を持ち、グループ別交流では、自己紹介、趣味の話で笑顔が見られました。また、平和に関する各国の考えを意見交換し、類似点・相違点を発見しました。
4 日目 2022 年 9 月 15 日 熊本県	1. 【講義、VTR視聴、質疑応答】 「世界文化遺産『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』、構成資産『天草の崎津集落』の宗教的価値について」 講師：天草市観光文化部文化課世界遺産・キリシタン資料館係 主任 中山 圭氏 2. 【ライブ中継視察、質疑応答】天草市崎津集落	講義は、専門性が高いものでしたが、参加者は熱心に聴講していました。視察では、実際に訪日している感覚を持ち、美しい崎津の風景に興味を示していました。「崎津以外の地域からキリスト教徒が逃げてきたということはあったか」「仏教とキリスト教がもたらされる前の日本の宗教は何か」等、多くの質問がありました。
5 日目 2022 年 9 月 17 日 広島県	1. 【自治体訪問・講義、質疑応答】 「広島市の経済について」 講師：広島市経済観光局産業振興部商業振興課海外経済交流員 片岡 カイ 氏 2. 【被ばく 2 世によるバーチャルピースツアー、質疑応答】 ガイド：株式会社m i n t ピースツアー	講義では、「広島市の再建で使用された材料をどこから調達したか」「広島に労働組合はあるか」「広島の名前はどのような意味か」等、多くの質問がありました。ツアーでは、原爆投下に関わる施設を訪問し、参加者は、ガイドの質問へ積極的に回答していました。
大分県	2. 【学校交流】立命館アジア太平洋大学 ① 【アイスブレイク、大学紹介】 ② 【講義、質疑応答】 「人間の安全保障：日本の貢献」 講師：アジア太平洋学部准教授 ゴメス オスカー氏 ③ 【ワークショップのための事例紹介】 講師：アジア太平洋学部准教授 ホ エミリア氏 ④ 【日ASEAN青年間のワークショップ】	まず、日本人学生たちとの自己紹介、趣味（ゲーム等）の話で和やかになった後、大学生活について意見交換し、親交を深めました。 講義では、「人間の安全保障を考える上で、一番の脅威は何か」「人間の安全保障という考え方、日本の国際社会への貢献」について関心を高めました。ワークショップでは、ウクライナ（侵略）とパキスタン（洪水）の事例を受け、参加者は人間の安全保障について積極的に意見を交換していました。

6 日目 2022 年 9 月 20 日 沖縄県	1. 【文化講義、質疑応答】 ①講義：「沖縄の食文化について」 講師：（一社）トータルウェルネスプロジェクト ト沖縄琉球料理传承人 大宜見 かおり氏 ②読谷村紹介 2. 【ホームビジット】読谷村 3. 【文化体験】カチャーシー（注） （注）カチャーシーとは、テンポの速い 沖縄民謡の演奏に合わせて両手を頭上に挙げ、手首を回しながら左右に振る踊り。	参加者は、日本と自国の食文化や、料理について比較し、類似品を探すなどして、興味津々で参加していました。また、日 A S E A N 双方から食材や食事についての質問が飛び交っていました。 そして、参加者は、沖縄の楽器、音楽、踊りにふれ、沖縄の人たちのおもてなしの心を感じ、終始笑顔がみられました。
7 日目 2022 年 9 月 21 日	【ワークショップ】 1. プログラムの振り返り意見交換 2. 報告会での発表準備	参加者は、「日本について学んだこと、発見したこと」「訪日中に SNS で発信した内容」「プログラムでの学びをいかした活動目標」について、目を輝かせて話し合っていました。
8 日目 2022 年 9 月 22 日	【報告会】 1. 参加者による発表 2. 来賓による講評 株式会社 m i n t 福原 慎太郎氏	国別に発表しました。（参照 8 ページ「6. 報告会での発表内容」）

2. 記録写真

	
2022 年 9 月 13 日【講義】 「神風特別攻撃隊について」	2022 年 9 月 14 日【学校交流】 沖縄県立那覇高等学校
	
2022 年 9 月 14 日【学校交流】記念撮影	2022 年 9 月 15 日【視察】天草市崎津集落

	
2022 年 9 月 15 日【講義】世界文化遺産等	2022 年 9 月 17 日【講義】広島市の経済
	
2022 年 9 月 17 日【バーチャルピースツアー】 広島市	2022 年 9 月 17 日【学校交流】 立命館アジア太平洋大学
	
2022 年 9 月 17 日【学校交流】記念撮影	2022 年 9 月 20 日【講義】伝統的琉球料理紹介
	
2022 年 9 月 20 日【ホームビジット】読谷村	2022 年 9 月 22 日【報告会】発表の様子

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ フィリピン 高校生

オンライン交流で最も良かった点は日本の高校生や大学生と交流が出来た事と、沖縄を訪問した事です。また、このプログラムでは学生や他の人と1対1で会話が出来たので、私にとって日本の文化について学ぶ事が出来て最も印象深かったです。更に各トピックは多くの情報をわかりやすく提供してくれました。そのため、大学生との幅広いテーマでの交流でも、簡単に理解することが出来ました。

◆ ベトナム 高校生

全ての講義が非常に有益であり、それぞれのテーマについて細心の注意を払って説明して下さったことがよかったです。また、現地のガイドの皆さんはとても熱心で、直接会えなかったのが残念ですが、それを補っても余るほど、皆さん一生懸命で、充実した研修になりました。

◆ ミャンマー 高校生★

日本の歴史や文化を学べたことが一番の成果だと思います。また、ASEAN諸国の多くの新しい友人と出会うことができました。このプログラムは今までの私の人生の中で最高の体験になりました。

◆ 東ティモール 高校生

オンライン交流プログラムの最大の利点は、日本の文化や社会を体験できることです。特に、日本に関する知識が深まり、道徳や献身的な姿勢、規律について学ぶことができました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 講師

高校生対象の講義でしたが、参加者の皆様の関心が高く嬉しく思っています。記念撮影で参加者の顔を拝見できて嬉しかったです。

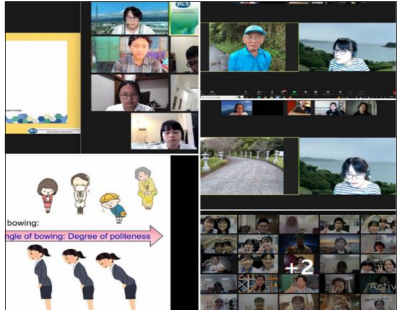
◆ 交流校学生

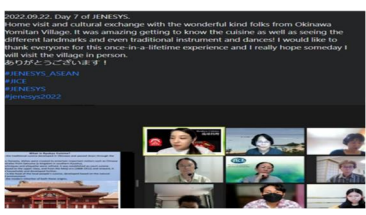
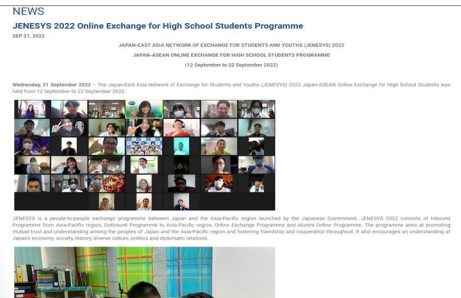
- ・ 東南アジア諸国の英語を母国語としない地域の子達は英語のスキルが高く、日本人の語学力との差を感じました。
- ・ 私達の国や県の特徴、独特な文化などを紹介しました。特に学校の様子について動画などで具体的に紹介したことは、ASEANの皆さんの強い興味をもってもらったようです。また、部活動の種類の多さなどにも驚いている様でした。
- ・ 好きな日本人歌手やアニメなどの共通の話題を通して盛り上がったこと、日本の文化をよく知っていたことは、嬉しかったです。自分も他の国のことをもっと知ろうと思いました。

◆ 協力団体

バーチャルピースツアーは、参加者の皆さんにとって非常に素晴らしい経験になったと思います。被爆者2世の方の演説は、高校生たちにとって関心のある内容だったと思います。私自身も大変勉強になり、素晴らしいプログラムだったと感じました。

5. 参加者の対外発信、報道記事

	
2022年9月13日（Instagram）2日目、鹿児島を訪れ、神風特攻隊について学びました。	2022年9月17日（Facebook）プログラムに参加できてとても光栄です。平和構築のテーマで講義を受け、沖縄県で家庭を訪問しました。

	
2022 年 9 月 22 日 (Facebook) このプログラムに参加できることを本当に嬉しく、誇りに思います。このプログラムの全ての瞬間が忘れられません。例えば、6 日目は立命館アジア太平洋大学で奨学金、生活費、交換留学生の日本での日常生活や、社会で平和を作るための良いアイデアを得る等、多くの学びがありました。最後に、このプログラムの参加者の 1 人になれたことを本当に嬉しく思います。これからも日本に関するプログラムに参加できることを願っています。	2022 年 9 月 22 日 (Facebook) 沖縄県読谷村のホームビジットと素晴らしい方々との文化交流。料理を知るだけでなく、さまざまなランドマーク、さらには伝統的な楽器や踊りを見て大変驚きました。この一生に一度の経験に感謝し、いつか村を直接訪れたいと思っています。ありがとうございました。
	
2022 年 9 月 21 日ブルネイ教育省ホームページオンライン交流の様子	2022 年 9 月 22 日 Borneo Bulletin 新聞 報告会の様子

6. 報告会での発表内容（抜粋）

カンボジア		
		
■ プログラムを通じて、以下の多くのことを学び、発見しました。 ・歴史、伝統、文化、食べ物、楽器、日常生活、地理、人口、特別な場所や有名な学校（那覇高校、立命館アジア太平洋大学）、新しい友達を作ることなど。 ・鹿児島、沖縄、天草などの重要な場所を訪れ、日本に関する多くの経験と知識を得ました。 ・「社会を平和にする方法」についてアイデアの共有をしていただきました。		

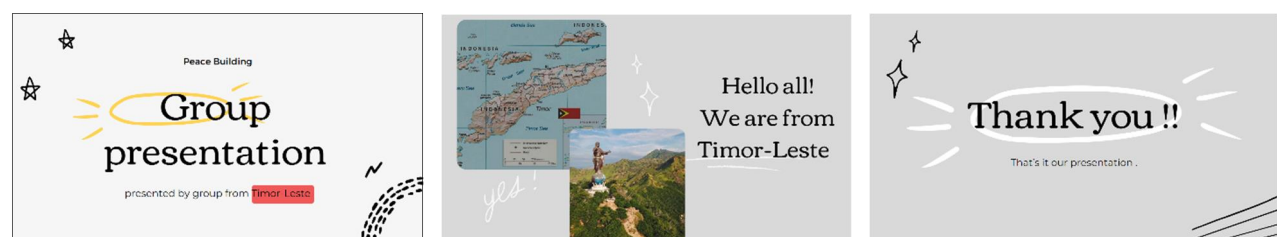
タイ



■ 平和構築について学んだ後、私たちにできることについて

- ・他者の権利と自由を尊重すること。
- ・他の人々に戦争の不利な点を認識させること。
- ・人間の安全保障と、それを保護するために私たちができることを他の人々に知らせること。

東ティモール



■ 私達が学んだことについて

- ・「宗教間の寛容」が重要
- ・チームワークとグループ活動の大切さ
- ・討論し、お互いを理解すること
- ・ホームビジットを通じて、海外とつながりを持つこと
- ・各々の価値、実践すること、優しさを持つこと

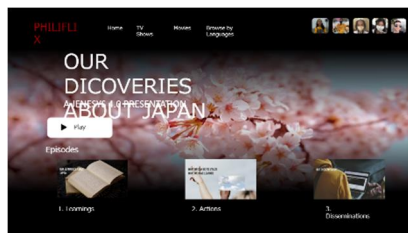
■ 平和構築について

- ・平和の創出または平和の維持を目的とした行動を実施する。

■ プログラムから学んだこと

- ・社会の様々なグループ間で持続的な対話を維持すること。
- ・多様性を受け入れ、思いやり、寛大さ、公平さを通じてお互いをサポートすること。
- ・平和構築は、意見の相違を平和的に解決し、将来の暴力を防止するための基盤を築くのに役立つ。
- ・結論として、日本の社会と歴史を発見することで、革新的なこと、より多くのことを学び、私たちの国の変化の担い手になりたいと思う。

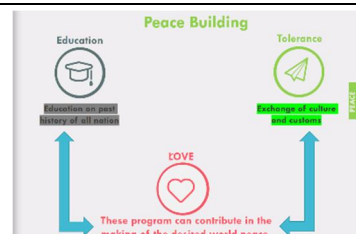
フィリピン



■ 学んだことを活かすために出来ること

- ・ 平和を促進する
- ・ 他国と良好な関係を築く
- ・ 偏見を持たない
- ・ 他の文化を認め、尊重する日本の魅力を広める
- ・ 私たちの冒険と学んだことを共有する

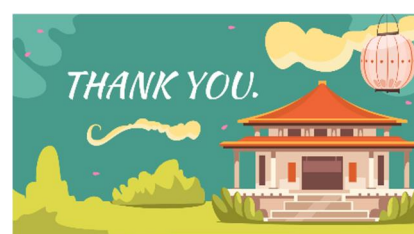
ブルネイ



■ このプログラムの平和構築について

私たちが発信したり活動することは、望ましい世界平和の実現に貢献できると考えます。

ベトナム



■ プログラムを通じて学んだこと

私たちは、交流プログラムやイベントへの積極的な参加や運営を目指すことで、あらゆる国の若者が、世界の多様でユニークな文化に触れ、異なる人々への思いやりを持ち、敵意や暴力を排除し、平和を実現することが叶うと思います。

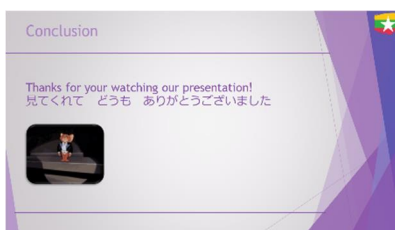
マレーシア



■ プログラムを通じて今後実施すること

- ・ 日本文化の日を実施する。(伝統的な食と文化を体験する、着物を着る、伝統楽器を演奏するなど)
- ・ ソーシャルメディア (Facebook、Instagram、Twwiter) に情報を投稿し、共有する。
- ・ 日本の観光案内 (沖縄県、天草市) をする。

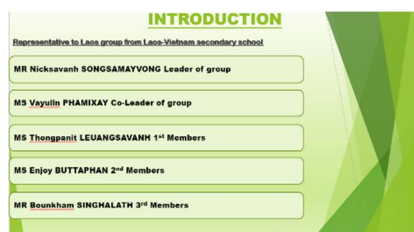
ミャンマー



■ プログラムを終えて学んだこと

- ・ 日本の文化について
 1. ごみを分別して捨て、その一部を再利用している。
 2. 技術発展は著しいが、遺産を守ることに成功している。(時代の変遷とともに守れなくなる国も多い)
 3. 伝統を受け継いでいる
- ・ 参加者の知識交換をする。

ラオス



■ 平和構築について

平和構築とは、民族、宗教、階級、国家、人種などの境界を越えて、個人、グループ、政治的な建設的関係を築くことです。非暴力的な方法で不正を解決し、致命的な紛争を生み出す構造的条件を変革することを目的としています。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (J I C E)